

子ども大学 親子パン作り講座

個性豊かなパンが焼き上がる

親子パン作り講座が6月24日、吉良町公民館で開催され、抽選で選ばれた18組の親子が参加しました。今回作ったのは、カエルの形をしたチョコパンとたこ焼き風パン。柔らかい生地を丁寧にこねて、形にしていきました。作業に時間がかかるとパン生地の発酵が進んでしまうため、各班で協力し、手際良く進行。こんがりきつね色のパンが焼き上がると、出来栄を楽しそうに話すなど、親子でふれあひながらパンを作っていました。



赤ちゃんふれあい体験授業

命の大切さを実感

赤ちゃんふれあい体験授業が6月11日、吉良中学校で行われました。初めは緊張した面持ちだった生徒たちも、赤ちゃんの柔らかい肌に触れると自然と笑顔に。大事に抱っこしたり、笑わせたりと全員が優しい気持ちで赤ちゃんに接していました。質疑応答では、「一番初めに掛けた言葉は何ですか」などと積極的に質問。「私たちにとって赤ちゃんが大事なように、みんなもお父さんとお母さんにとって大事な存在だよ」というお母さんの言葉を真剣に聞いていました。



アマモ移植ボランティア

佐久島の海をもっと豊かに



アマモ移植ボランティアが6月30日、佐久島の大浦海水浴場周辺で行われました。佐久島の海を豊かにしようとする中学生が始め、今年で17年目。この活動を含めた藻場再生活動を行っている佐久島中学校は、自然環境の保全への功績が高く評価され、4月に環境大臣賞を受賞しました。時折激しい雨に見舞われる中、一色高校の生徒など、島の内外から集まった約240人が作業。佐久島中学校の生徒の説明を受けながら、群生する藻場からアマモを採取し、佐久島小・中学校前の海岸に移植していました。

あじさいフェスティバル

咲き誇る姿がフォトジェニック



6月23日・24日に、三ヶ根山スカイライン山頂駐車場であじさいフェスティバルが開催されました。初日はあいにくの雨模様でしたが、2日目は朝から雲一つない晴天に。西尾市出身の5人組ダンス&ボーカルユニット「Girls be Ambitious」のライブや地元特産品の販売、大抽選会などの催しに大勢の人が訪れました。毎年恒例のあじさいの苗木無料配布は、開始前から行列ができるほど大人気。参加者は咲き誇る姿を想像しながら、楽しそうに苗木を選んでいました。



にしおのど自慢カラオケ大会

歌 うことが好きな人集まれ！

7月8日、一色地域交流センターで「にしおのど自慢カラオケ大会」が開催され、小学生から高齢者まで幅広い年代の方が参加しました。このイベントは、地域の交流を広げようと、4月にリニューアルした一色地域文化広場が企画した新しい取り組みのひとつ。アットホームな雰囲気のある会場では、参加者が家族や友人の声援を受けながら自慢の歌声を披露していました。大会はこれからも開催される予定で、どなたでも気軽に参加できます。



第21回幡豆・友引市

惜しまれながら、幕を閉じる



名鉄西幡豆駅周辺で6月17日、幡豆・友引市が開催されました。幡豆地区のにぎわい創出や名鉄西尾・蒲郡線の利用促進を目的に、NPO法人「幡豆・三河湾ねっと」が12年前から開いてきた友引市。21回目を迎える今回を最後に幕を閉じました。地元の特産品や手作りアクセサリ、骨董品などを売る店が会場に並び、大勢の人でにぎわっていました。幡豆民舞会の踊りや、和太鼓ユニット「Shin」のパフォーマンスでは、来場者も一緒に参加し、楽しんでいました。

吉良ではじめよう 初心者和太鼓講座

和 太鼓の迫力ある音が響き渡る

横須賀ふれあいセンターで7月4日、初心者和太鼓講座が開講しました。リズムに合わせて太鼓をたたき、全身運動につなげようと企画されたものです。講師の田中駿一郎さんは、市観光親善大使の山田純平さんが率いる和楽総合芸術集団「山田純平×熱響打楽」のメンバー。全国各地で公演し、活躍しています。参加者はバチの持ち方や構え方から学び、徐々にコツをつかんで軽快にたたけるように、掛け声を出しながら、楽しそうに太鼓を打ち鳴らしていました。



一色南部小学校コミュニティ広場開所式

コミュニティの拠点を小学校へ



6月20日、一色南部小学校でコミュニティ広場の開所式が行われました。市内で初めて小学校の空き教室を利用した同広場は、地域コミュニティの拠点として、地域会議の開催や高齢者の生活支援、地域と学校の連携を目的に開設。改修された空き教室は、机やすい、畳、プロジェクターなどが置かれ、校内を経由せずに教室の外から直接出入りできる構造になっています。小学校に地域の方が集まることで、世代を超えて交流できるとともに不審者などから児童を守るなど、防犯面での効果も期待されています。